

報道各社御中 環境省広報室

鳥取県での高病原性鳥インフルエンザ発生に伴う野鳥緊急調査チーム
による調査の結果について
(H28.11.25)

鳥取県鳥取市で11月15日に採取したコガモ糞便から、高病原性鳥インフルエンザウイルスの検出を受けて、11月23日(水)から25日(金)に野鳥緊急調査チームを現地に派遣し、現地の野鳥の生息状況などの調査を実施しましたので、以下のとおりその結果をお知らせします。

1 調査結果

11月23日～25日にかけて、鳥取県鳥取市の発生地点周辺半径10km圏の野鳥監視重点区域内において、渡り鳥の飛来地等の計20地点において野鳥の飛来状況等を調査。野鳥の大量死は認められなかった。

(参考)

観察された鳥類 52種
うち、リスク種1 6種(キンクロハジロ、オオタカ、ノスリ等)
リスク種2 9種(オオバン、ホシハジロ、マガモ等)
リスク種3 15種(ヒドリガモ、カルガモ、カワウ等)

調査中に回収された死亡野鳥等(23日～25日) 0羽

*本調査結果は暫定値です。

*リスク種とは:「野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル」において、感染して死亡しやすい種を中心に設定

2 今後の対応

野鳥監視重点区域において、鳥取県と連携し、引き続き野鳥の監視を実施。

環境省はホームページで野鳥における高病原性鳥インフルエンザに関する様々な情報を提供しています。(http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/)

平成28年11月25日(金)

自然環境局野生生物課鳥獣保護管理室

直 通：03 - 5521 - 8285

代 表：03 - 3581 - 3351

企 画 官：東岡 礼治 (内線6475)

鳥獣専門官：根上 泰子 (内線6676)

中国四国環境事務所野生生物課

直 通：086 - 223 - 1561

課 長：澤志 泰正

専 門 官：安藤 忍